

あいあいクラブ
平成31年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			室内が広がるよう扉を撤去、物の収納等の工夫をしている。またグループ分けしたりすることで屋内・屋外での活動分けやエリア分けをしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			少ない配置でご本人の自発的な行動と自立を促す為、安全へ配慮した上で手を貸しすぎず、見守りを重視している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			今年度より、給湯器の設置を行った。また個々の対応にてフォローしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務分担を事業所内で共有し、定期的に作業内容・業務内容の見直しもを行っている。今後は定着出来るよう取り組んでいく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			例えば避難訓練では、全員が経験できるように各曜日毎に実施する等、アンケート結果を参考にして改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開していることを周知していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は出来ていないため、今後は法人として検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人としては年2回実施している。今後も障がい特性に合わせた研修の機会を増やしていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達管理責任者並びに常勤職員を主体に作成。アセスメントについては定期的の実施しているが、学齢に応じて頻度は組み立てている。今後は情報の共有方法を検討していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールは扱っていないが、個々の計画に反映できるよう保護者や関係機関との情報共有をしている。個々の改善に向けて取り組んでいきたい（不適切行動や誤学習等）。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		当日、担当毎に行っているが、職員の配置や当日の状況により出来ない時もあるため時間を確保できるように努めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況を考慮し、その日ごとのプログラムを考え、またご本人の意思のもとに決めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			集団と個々、利用者に応じた支援内容を細かく設定し、当日の活動は利用者全員の状況と意向を踏まえて決めている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の障がい特性を考えながら、個別の支援と集団での活動を組み合わせられるよう考慮している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全体や担当毎に行っているが、当日の状況等で時間が足りない場面もある。時間の確保から日々の定着へ繋げていきたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎後の振り返りや聞き取りを行う時間の確保が出来るように努めていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別での記録作成を徹底している。また勤務時間内に設けているが、より全員が目を通すことの出来るような体制を作っていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			事業所内での取り組みを計画に入れて、ご本人の様子に応じて柔軟に対応している。計画作成前にモニタリング面談を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った活動を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			保護者や利用者ご本人との関係性・状況に応じて、児童発達管理責任者並びに常勤職員を主体に参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校へのお迎え時に当日の様子等の聞き取りを行っているが、学年や個人によって内容のバラつきは見られる。保護者からも情報収集を面談時等で行っている。またトラブル発生時には、すぐに関係機関に連絡する等で対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当の利用者がいない。また医療的ケアの必要のある利用者は受け入れられない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を介して連携を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			要望や依頼に応じて対応している。必要な場合は相談支援事業所を介して提供する準備をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		事業所連絡会を通じて研修を行っている。企画はしているが、活動時間と重なることも多く、参加等が難しい場合がある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	(障がいの重い利用者が多く、)現在は交流する機会が少ない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			今年度より参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時・面談時、連絡帳等による情報共有に努めている。またどの職員でも、保護者と話す機会がある際には情報共有できるよう話している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者が直面した悩みや対応等については緩やかな理解向上に繋がる支援を行っている。また事業所内での成功体験やご本人の出来そうなこと等、支援についての情報共有に取り組んでいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定については契約面談時に説明を行っている。支援内容の詳細については書面で渡している。不明な点はその都度、対応している。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談は都度受けている。改善に向け、事業所内での取り組みを共有し、一緒に考えていけるよう慎重に対応している。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			法人内で年に一度、合同での懇談会を開催し、意見交換を行っている。今年度より保護者が発足したサークルの勉強会を開催。今後も状況に応じて行っていきたい。
保護者への説明責任	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			窓口の設置をして、契約時に説明を行っている。苦情があった場合は、早急に対応するよう努めている。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人で広報誌を発行している。その他の連絡事項やお知らせ等については、その都度、案内を配布している。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	○			当日の活動表は必要最低限枚数のみ用意。その他の書類等についても、保管分以外は全て当日に回収・破棄をしている。言動についても十分に気を付けるよう常に職員へは周知をしている。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者・保護者に伝える手段や方法は、色々な視点からのアプローチを取り入れるよう配慮している。今後もその都度、対応していきたい。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方を招待できる行事が現在は出来ていない。養護学校での行事等への参加に努めている。
非常時等の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		法人として委員会等を設置し、策定・運用をしている。周知に関しては、職員への周知は徹底しているが、保護者への周知には至っていない。
	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人の規定に沿って、年2回実施。実施に関して保護者への周知方法の検討が必要。
	④②	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人として実施している。今後も研修の機会をより増やしていきたい。
	④③	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在は、職員間で共通理解を図り、安全面の配慮として個別支援計画には記載をして、保護者に対して説明を行っている(外出時の手つなぎ、車内のシートベルト等)。なお具体的な対応について、法人としての今後の課題として検討中。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書はないが、保護者からの情報提供を基に対応している。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎年、法人として作成・共有をしている。	